

# ラトビア月報

【2022年5月】



2022年（令和4年）6月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

## 主な内容

### 【政治】

- ・ 5月9日の対独戦勝記念日は大規模な騒動なく終了したが、ゴルベバ内務大臣が辞任
- ・ ソ連戦勝記念碑等の保護に関する協定条項を停止 (P. 1)

### 【経済】

- ・ 2021年のシャドウ・エコノミーは前年比1.1%ポイント増の対GDP比26.6% (P. 2)

### 【外交】

- ・ リンケービッチ外務大臣のウクライナ訪問
- ・ ゼレンスキー大統領によるラトビア国会でのビデオ演説 (P. 5)

### 【その他】

- ・ リエパーヤが2027年の欧州文化首都に選出 (P. 9)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

## — 政治 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆5月9日対独戦勝記念日は大規模な騒動なく終了したが、ゴルベバ内務大臣が辞任

5月9日のウクライナ戦争犠牲者追悼記念日には組織的な集会等が禁止されていた中、リガの戦勝記念公園には、例年より少数ながらもロシア系住民が訪れ献花等を行ったが、大規模な騒動なく終了した。翌10日、献花した花が当局により撤去されたことを知った人々が再度献花に訪れ、その中にはソ連を称賛する者等が確認されたため、警察は十数名を拘束した。本件に関して、「ナショナル・アライアンス」（連立与党を構成）はカリンシュ首相に対し、警察の対応が不十分であったとしてゴルベバ内務大臣（「発展・For!」）の辞任を要求し、これに応じない場合は連立与党を離脱すると宣言した。5月16日、ゴルベバ内務大臣は辞意を表明した。

#### ◆ソ連戦勝記念碑等の保護に関する協定条項を停止

5月12日、国会は、1994年のラトビア・ロシア間の協定に定められた、ラトビアにあるロシア（旧ソ連を含む）に関連する記念碑等を保護する義務に関する条項（第13条）の効力を、一時停止する法改正を行った。上記条項の効力停止は、ロシアがウクライナに対する国際法違反を是正（ロシア軍のウクライナ領内からの撤退、国際法に基づくウクライナの領土一体性及び主権の完全回復、国際法違反行為への完全な補償等）するまでの間、停止される。

#### ◆ゴルベバ内務大臣及びビテンベルグス経済大臣の辞任と新大臣の国会承認

5月16日、ゴルベバ内務大臣は、「ナショナル・アライアンス」からカリンシュ首相へのゴルベバ大臣辞任要求を受け、国家の安全保障が不安定な政府によって脅威にさらされてはならないと述べ、大臣職を辞任すると発表した。18日、カリンシュ首相は、連立与党内での政治的均衡を保つための処置であるとしてビテンベルグス経済大臣（「ナショナル・アライアンス」）を解任した。26日、国会は各政党から推薦を受けたイルゼ・インドリクソーネ経済省政務官（「ナショナル・アライアンス」所属）を経済大臣として、クリスタプス・エクロンス国家消防救急庁副長官（「発展・For!」所属）を内務大臣として承認した。

#### ◆4月の政党支持率

5月17日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する4月の世論調査結果を公表した。調査の結果、ロシアのウクライナ侵攻後に第1位となった「新・統一」（※カリンシュ首相の所属政党）は0.4%ポイント上昇して9.8%となり、第2位は「緑と農民連合」が0.3%ポイント上昇して8.0%、第3位は「ナショナル・アライ

アンス」が0.6%ポイント上昇して7.8%となった。長期に亘り第1位であったがロシアのウクライナ侵攻後に第4位に転落した「調和」は0.1%ポイント上昇して6.8%となり、3月と同様に第4位に留まった。

政党名 (%、括弧内は前回の国会選挙の得票率)	支持率 (%、括弧内は2022年3月の値)
「調和」(19.80)	6.8 (6.7)
「KPV LV」(14.25)	- (-)
「保守党」(13.59)	2.5 (3.1)
「発展・For!」(12.04)	4.4 (5.4)
「ナショナル・アライアンス」(11.01)	7.8 (7.2)
「緑と農民連合」(9.91)	8.0 (7.7)
「新・統一」(6.69)	9.8 (9.4)
「ラトビア地域連合」(4.14)	2.4 (2.4)
「ラトビアのロシア連合」(3.20)	3.2 (3.2)
「進歩党」(2.61)	4.4 (4.9)
「全ての人々ために」	2.4 (1.9)
「LPV」(2021年8月設立)	3.0 (2.5)
「共和」(2021年8月設立)	1.7 (1.0)

(政党は上から2018年10月に実施された第13回国会選挙で獲得票数が多かった順)

## — 経済 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆2021年のシャドウ・エコノミーは前年比1.1%ポイント増の対GDP比26.6%

5月16日、ストックホルム商科大学リガ校は、バルト諸国のシャドウ・エコノミー（地下経済）指数（2009年-2021年）「Shadow Economy Index for the Baltic Countries 2009-2021」を公表した。これによると、2021年、ラトビアにおいてシャドウ・エコノミーがGDPに占める割合は、前年より1.1%ポイント増加して26.6%となり、2011年以降でもっとも高い水準となった。セクター別では、建設部門の割合が最も高かった。また、調査の結果、新しく小規模な企業は、古い大企業よりもシャドウ・エコノミー活動に多く関与しているにもかかわらず、シャドウ・エコノミーによって得た利益は、大企業ほど大きいことが判明した。ラトビアではシャドウ・エコノミーによって失われた税収は27億ユーロ以上とも言われ、専門家は、政策立案者はシャドウ・エコノミーの削減のため包括的な対策を考えるべきだと指摘した。

同指数によると、企業が支払った賃金のうち、政府への未申告の賃金の割合は23.8%（2020年は23.5%）、企業の収入のうち未申告ないし過少申告の割合は18.6%（同

18.0%)、従業員のうち契約書を交わさずに雇用される者の割合は10.7% (同10.9%)。

#### ◆エアバルティック社がタンペレに新拠点を開設

5月2日、エアバルティック社によると、同社はフィンランドのタンペレに新しい拠点を開設した。同社は、引き続きリガ・タンペレ間を運航するのに加え、タンペレからオスロ、コペンハーゲン、フランクフルト、ミュンヘン、マラガ（スペイン）及びロードス（ギリシャ）の6都市との間で直行便を運航する。また、6月からはタンペレからアムステルダムへ直行便を運航する予定。

#### ◆2022年4月の失業率は6.5%

5月9日、国家雇用庁は2022年4月末の失業率は前月末比0.3%ポイント減の6.5%となったと発表した。地域別では、リガ地方が4.6% (0.1%ポイント減) で最低となり、ラトガレ地方が14.2% (0.6%ポイント減) で最大となった。また、ビゼメ地方が7.1% (0.5%ポイント減)、クルゼメ地方が6.9% (0.6%ポイント減)、ゼムガレ地方が6.3% (0.5%ポイント減) となった。同庁に登録された失業者は57,223人 (2,976人減) となった (括弧内は2022年3月末比)。

#### ◆2022年4月の消費者物価上昇率は13.0%

5月10日、中央統計局は、2022年4月の消費者物価上昇率が前年同月比13.0%、前月比では2.2%であったと発表した。部門別では、運輸関連 (24.7%)、食料品・ノンアルコール飲料 (17.4%)、住宅関連 (16.2%)、において上昇が見られた。特に、燃料費 (45.7%) の上昇が物価上昇に大きな影響を与えた (括弧内は前年同月比)。

#### ◆欧州委員会は2022年のラトビアのGDP成長率を前年比2.0%増と予測

5月16日、欧州委員会の「Spring 2022 Economic Forecast」は、2022年及び2023年のラトビアのGDP成長率及び消費者物価指数等を以下のとおり予測した。欧州委員会によると、2022年初め、ラトビアは強固な成長が期待されたが、ロシアのウクライナ侵攻に関連する制裁が経済に悪影響を与え、成長率は大幅に鈍化すると見られる。また輸出の減少とエネルギー及び原材料価格の上昇の影響も考慮すると、今年のGDP成長率は限定的となり、2.0%と予測した。

	2022年	2023年
GDP成長率 (%)	2.0	2.9
消費者物価上昇率 (%)	9.4	3.5
失業率 (%)	7.3	7.1
一般政府財政赤字 (対GDP%)	7.2	7.1
一般政府債務 (対GDP%)	47.0	46.5

### ◆欧州委員会はエアバルティック社の合計4500万ユーロの増資を承認

5月24日、欧州委員会は「国家補助 COVID 暫定枠組み」に基づき、エアバルティック社の筆頭株主であるラトビア政府による同社への3340万ユーロの増資を承認した。この増資は、同社を新型コロナウイルスの流行及び渡航規制により生じた多額の損失及び収益低下に伴うデフォルトと債務超過リスクから救済するためのもの。また同日、欧州委員会は既存のEU国家補助規則に従い、ラトビア政府による同社への1160万ユーロの増資を承認した。

### ◆2022年第1四半期の失業率は7.3%

5月25日、中央統計局は2022年第1四半期の失業率は前期比0.2%ポイント増、前年同期比0.8%ポイント減の7.3%であったと発表した。若者（15歳～24歳）の失業率は前年同期比では4.3%ポイント減、前期比0.7%ポイント増の12.0%となった。長期失業者（12か月以上失業している人）が全失業者に占める割合は前期比4.5%ポイント減、前年同期比1.5%ポイント減の27.8%となった。

### ◆2022年第1四半期の平均月給は前年同期比6.9%増の1,297ユーロ

5月30日、中央統計局は、2022年第1四半期の平均月給（グロス）は前年同期比6.9%増加し1,297ユーロとなったと発表した。業種別では、金融・保険部門（2,574ユーロ）や情報・通信部門（2,206ユーロ）の月給額が特に高かった一方、宿泊・食品サービス部門（811ユーロ）や教育部門（988ユーロ）などは平均を下回っていた。なお、手取りの平均月給（ネット）は前年同期比6.2%増加し、951ユーロとなった。

### ◆2022年第1四半期の実質GDP成長率は前年同期比6.7%増

5月31日、中央統計局は、2022年第1四半期の名目GDPは81億ユーロ、実質GDP成長率（前年同期比）は6.7%増であったと発表した。また、前期比では3.6%増（季節調整値）となった。部門別では、加工部門（対前年同期比8.3%増）、特に、木材及び木材加工品（18.9%増）、運輸部門（3.0%増）及び宿泊施設・飲食部門（83.8%増）等の部門で成長がみられた一方、建設部門（8.4%減）等では縮小した。

## — 外交 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆リンケービッチ外務大臣のウクライナ訪問

5月6日、リンケービッチ外務大臣は、エストニア及びリトアニアの外務大臣とともにウクライナを訪問した。キーウ滞在中、バルト三国の外務大臣はゼレンスキー大統領、ステファンチューク最高会議議長、クレバ外務大臣及びステファニシナ副首相と会談し

た。バルト三国の外務大臣は、ウクライナの主権と領土一体性への強い支持を表明し、ロシアの侵略と戦うウクライナ国民との連帯を再確認した。また、ウクライナが近い将来 EU の加盟候補国として承認されることへの強い支持を確認した。リンケービッチ外務大臣は、ラトビアは政治的、軍事的、人道的なあらゆる支援を提供し続けると強調した。同大臣は、戦争で破壊されたイルピンを訪問し、ウクライナでロシア軍が犯した戦争犯罪や残虐行為の調査責任追及のためにあらゆる国際司法制度を適用する必要性を強調した。

#### ◆ゼレンスキー大統領によるラトビア国会でのビデオ演説

5月26日、ゼレンスキー大統領は、ラトビア国会においてオンライン演説を行った。同大統領は、ラトビアからの支援及び兵器「スティンガー」の供与等に関し感謝すると述べた。さらに同大統領は、侵略者を「なだめる」ために、攻撃された国を犠牲にしても譲歩が必要との声が出ていることに対し、ロシアはウクライナで止まることはないと言明しておりバルト三国やポーランド等をも欲している、だからこそ特定の国を軽視することなく、「すべての国家が重要である」という原則のために戦わなければならないと主張した。また、ロシアの戦争犯罪者を裁くためのレヴィッツ大統領のイニシアティブに感謝すると述べた。

#### ◆リンケービッチ外務大臣のウクライナ支援ドナー会合出席

5月5日、リンケービッチ外務大臣は、ワルシャワにて開催されたウクライナとその国民への人道支援促進のためのハイレベル・ドナー会議に出席した。挨拶の中で、同大臣は、ラトビアはウクライナに対してあらゆる支援を行っており、さらにウクライナの学校、幼稚園、病院の再建に関与していくと述べた。また、ラトビア国内のウクライナ難民支援のために1億1600万ユーロの追加支援措置を講じたこと、ウクライナ政府が活動を継続できるよう、世界銀行へ1000万ユーロの融資保証を提供する意向であること等を表明した。

#### ◆コンドラチューク・ウクライナ最高会議副議長がレヴィッツ大統領及びムールニエツェ国会議長と会談

5月9日、レヴィッツ大統領は、リガを訪問中のコンドラチューク副議長と会談し、ラトビアはロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、ウクライナの独立と領土一体性の完全な回復及びウクライナへのEU加盟候補国としての地位の即時付与を支持すると強調した。また、ラトビアはロシアの戦争犯罪の証拠を集めており、それらは最終的に国際法廷で使用されるだろうと述べた。コンドラチューク副議長は、本年5月9日をロシアのウクライナ侵略の犠牲者を追悼する日としたラトビアの決定を歓迎し、ウクライナ難民への支援に謝意を表明した。

同日、ムールニエツェ国会議長はコンドラチューク副議長と会談し、ウクライナのEU加盟候補国入りを支持するとともに、ラトビアは軍事支援を含むあらゆる支援をウクライ

ナに提供し続けると述べた。

#### ◆カリンシュ首相のカナダ訪問

5月12日、カリンシュ首相は、カナダを訪問しトルドー首相と会談した。両首相は、ウクライナ戦争を受けての安全保障情勢と、NATOの東部側面におけるプレゼンス強化について協議し、ラトビアの防衛強化に向けてより緊密な協力関係を構築することに合意した。カナダは、アーダジ基地のNATO多国籍師団本部「ジエメリ」に、近々司令官1名と将校6名を派遣する予定。会談後、カリンシュ首相は、「ラトビアとカナダは、自由、民主主義、法の支配という共通の価値観を有している。必要であれば、我々は強さと決意をもってこれらの価値を守る準備ができてることが不可欠。同時に、我々の防衛システムは集団防衛の一部として最も効果的に機能すると認識しており、カナダはこの点で、極めて重要な役割を担っている」と述べた。両首相はまた、両国はウクライナに対するあらゆる支援を継続することを強調した。

#### ◆リンケービッチ外務大臣とチャヴシュオール・トルコ外務大臣との電話会談

5月23日、リンケービッチ外務大臣は、チャヴシュオール・トルコ外務大臣と電話会談した。リンケービッチ大臣はNATOの東部側面における現在の安全保障状況を考慮し、マドリードで開催されるNATO首脳会議ではラトビアへの常駐防衛部隊（旅団規模）の設置を支持するようトルコに要請した。また同大臣は、トルコの正当な安全保障上の利益に対する理解を示しつつ、フィンランド及びスウェーデンのNATO加盟は同盟全体の安全保障にとり直接的かつ重要な改善となると述べ、同2か国が近い将来NATO加盟を実現することを希望すると述べた。

さらに、リンケービッチ外務大臣は、本年5月19日から、ラトビア国民がトルコにビザなしで滞在できる期間を延長し、90日間とするトルコ政府の決定を歓迎した。

#### ◆リンケービッチ外務大臣とヴィットフェルト・ノルウェー外務大臣との会談

5月24日、リンケービッチ外務大臣はヴィットフェルト・ノルウェー外務大臣と会談し、国際機関における二国間協力、ウクライナへの支援及び現在の安全保障政策について話し合った。リンケービッチ大臣は、両国は、地域の安全と繁栄のためのビジョンを共有する緊密なパートナーであるとし、活発な協力関係を継続する意向を示した。同大臣はまた、ラトビアは、バルト地域におけるNATOの抑止・防衛手段へのノルウェーの貢献を高く評価しており、フィンランド及びスウェーデンのNATO加盟を支持すると強調した。さらに同大臣はヴィットフェルト外務大臣に対し、本年10月21日～22日に開催される「リガ会議」への参加を呼びかけた。

#### ◆リンケービッチ外務大臣とコーヴニー・アイルランド外務・国防大臣との会談

5月26日、リンケービッチ外務大臣は、アイルランドのコーヴニー外務・国防大臣をリ

ガに迎え、両国の二国間関係、地域の安全保障情勢、ウクライナへの支援について意見交換した。両大臣は、両国間でEUの課題に対する同様の理解や、国連及びその他の国際機関における良好な協力関係を築いてきたと強調した。地域の安全保障情勢について、リンケービッチ大臣は、ウクライナに対して可能な限りの政治・財政・人道支援を提供し続ける必要性を強調した。両大臣は、志を同じくするパートナーと共に、ロシアを孤立させるための決定を行い、制裁の実施を調整する必要があることで一致した。さらに両大臣は、観光分野を含む両国の二国間協力を促進する必要性を指摘した。

## — その他 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆リエパーヤが2027年の欧州文化首都に選出

5月10日、欧州文化首都専門家委員会は、ラトビア西部の都市リエパーヤを2027年の欧州文化首都に選出したと発表した。欧州議会及び欧州理事会の決定により、2027年の欧州文化首都はラトビアとポルトガルから1都市ずつ選出することになっており、ラトビアではリエパーヤの他、ダウガウピルス及びバルミエラが最終候補として2027年の欧州文化首都の座を競った。

1985年、ギリシャのアテネが最初の欧州文化都市となり、1999年、欧州文化首都に名称が変更された。2014年には、リガが欧州文化首都に選出された。

#### ◆アウスマ・ズィエドネ＝カンターネ氏の死去

5月29日、女優で元国会議員のアウスマ・ズィエドネ＝カンターネ氏が80歳で死去した。同氏は1941年11月10日にリガで生まれ、1963年にヤーゼップス・ビートルズ音楽学校を卒業後、ダイレ劇場で活躍する傍ら、リガ・カトリック合唱学校で教鞭を執った。第8回国会（2002年～2006年）及び第9回国会（2006年～2010年）で国会議員を務め、三ツ星勲章を受章した。



## 2022年5月の主な出来事

	【内政】	【外交】
5月	4日、ラトビア独立回復宣言記念日	5日、リンケービッチ外務大臣、ウクライナドナー支援国会合出席(於ワルシャワ) 6日、リンケービッチ外務大臣、ウクライナ訪問
	9日、ウクライナ侵略犠牲者追悼記念日	9日、コンドラチューク・ウクライナ最高会議副議長のラトビア訪問
	10日、政府はベラルーシ国境近辺における非常事態宣言の再延長(8月10日まで)を決定	10日、レヴィッツ大統領、ドイツ訪問
	12日、国会はソ連戦勝記念碑等の保護に関する協定条項を停止する法改正を可決	12日、カリンシュ首相、カナダ訪問
	15日、公共交通機関でのマスク着用義務の撤廃	14日、リンケービッチ外務大臣、NATO非公式外務大臣会合出席(於ベルリン)
	16日、ゴルベバ内務大臣辞任	16日、リンケービッチ外務大臣、EU外務理事会出席(於ブリュッセル)
	18日、ビテンベルグス経済大臣解任	
	19日、国会はベラルーシ国境近辺における非常事態宣言の再延長を承認	20日、リンケービッチ外務大臣、第132回欧州評議会閣僚委員会出席(於トリノ)
		23日、リンケービッチ外務大臣、EU総務理事会出席(於ブリュッセル) 24日、リンケービッチ外務大臣、ノルウェー訪問
	26日、国会は新たにインドリクソーネ経済大臣及びエクロンス内務大臣の就任を承認	26日、ゼレンスキー・ウクライナ大統領のラトビア国会におけるビデオ演説

## ラトビア主要経済指標

### GDP

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	25,371	26,984	29,154	30,647	29,457	32,867	8,136	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	12,949	13,901	15,135	16,019	15,497	17,454	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	2.4	3.3	4.0	2.5	▲ 3.8	4.5	6.7	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	66	67	69	69	70	71	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

### 財政収支, 政府債務残高

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	6	▲ 208	▲ 245	▲ 174	▲ 1,317	▲ 2,416	▲ 72	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	0.0	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.5	▲ 7.3	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,245	10,519	10,816	11,247	12,754	14,740	14,632	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	40.4	39.0	37.1	36.7	43.3	44.8	-	-	公式統計ポータル

### 失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
失業率	%	9.6	8.7	7.4	6.3	8.1	7.6	7.3	-	公式統計ポータル
消費者物価上昇率(※)	%	0.1	2.9	2.5	2.8	0.2	3.3	9.2	-	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	859	926	1,004	1,076	1,143	1,277	1,297	-	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	631	676	742	793	841	939	951	-	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	370	380	430	430	430	500	500	500	公式統計ポータル

(※)四半期は前年同期比

### 対内直接投資(FDI)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	13,591	14,713	15,294	16,000	16,727	20,964	21,571	-	中央銀行

### 貿易統計

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	10,490	11,647	12,773	12,966	13,305	16,443	4,629	-	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	12,417	14,177	15,793	15,914	15,159	19,519	5,531	-	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 1,927	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,076	▲ 902	-	公式統計ポータル

### 日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	48,524	50,526	53,343	56,637	50,099	76,889	19,960	-	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	18,974	22,282	25,668	27,999	21,738	24,490	6,640	-	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	29,550	28,244	27,675	28,638	28,361	52,399	13,320	-	公式統計ポータル

### 日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	5,523	7,573	7,325	5,794	4,459	5,809	1,312	-	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	9,291	8,017	8,847	8,868	8,650	10,088	4,643	-	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 3,768	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 3,331	-	財務省統計

### 両国間の訪問者数

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,484	2,487	2,551	2,701	393	393	11	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	23,191	24,576	29,534	20,416	2,358	396	112	-	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2021年6月末現在、1ユーロ=142円程度。

(2022年7月4日まで公表分のデータ)